

**プロジェクト名：トルコ国東部黒海（DOKAP）地域農業開発事前評価調査**  
（調査期間：2005年3月～1.3ヵ月、担当業務：農村開発）

**調査背景**

トルコ国のオルデゥ県、トラブゾン県、ギレソン県、リゼ県、 Gumシャネ県及びアルトピン県からなる東部黒海（DOKAP）沿岸地域は急峻な山岳地に覆われ、貧困農村が山岳地に分散しており、このため開発の進んだ大都市への労働力の移動をもたらし、その結果、都市部における貧困層の増加、都市環境・治安の悪化及びDOKAP沿岸地域における経済活動の鈍化が引き起こされている。当該地域の主な農産物はヘーゼルナッツと茶であり、これらは政府の保護下で生産・販売されているが、過剰生産や品質低下が問題となっている。近年、これらの作物に対する政府の補助政策を見直し市場競争を導入することが検討されていることから、モノカルチャーから脱却し、山岳地帯での営農方法を見直すことが急務とされている。このような背景から、トルコ国政府は当該地域の主要産業である農業を基盤として産業の多様化、農産加工の振興、観光開発の推進、中小零細企業の育成等の地域振興により雇用の拡大を図ることを目的として、マスタープラン策定の協力を要請し、実施された。その結果やその後に行われた調査により、技術協力プロジェクト実施の実施が養成された。

**調査概要**

本調査は、現行の農業を基盤としながら農村の持続可能な所得機会の拡充を図ることにより、農民の生活水準の向上を目指した技術協力プロジェクト実施のための妥当性を検証することを目的としている。このため、DOKAP地域の農村の現況を把握すると共に、農業・農村開発に関するトルコ側リソースの現状、技術開発及び普及にかかる組織・人員体制と活動状況を確認し、循環型営農を基盤とする現実的な村落振興の可能性をとりまとめる。

**担当事項**

- DOKAP地域の農村開発分野における他ドナーの動向確認
- 農業・農村開発に関する中央政府と地方行政との関わりと役割や県レベルの開発計画との整合性確認
- 技術開発及び普及にかかる組織・人員体制と活動状況の確認
- プロジェクト基本計画(案)、PO(案)、プロジェクト・ドキュメント(案)の作成

